

商工おのだ

Onoda Chamber of Commerce & Industry

発行所
山陽小野田市中心二丁目3番1号
小野田商工会議所
TEL 0836-84-4111
FAX 0836-84-4180
編集兼発行人
嶋田 正 平

第63回通常議員総会を開催

平成28年度事業報告及び収支決算報告を承認

当所では、去る五月三十一日十一時二十分から二階大会議室において常議員会、正午から三階講堂において第六十三回通常議員総会を開催した。当日総会では、藤田敏

彦会頭挨拶のあと議事に入り、三月に開催された臨時議員総会以降の当所役員・議員の変更について審議し、所属企業の人事異動に伴い交代となる徳田美智男監事の後任に



野口嘉一氏（小野田商業開発代表取締役専務）を選任したほか、議員一名（田中豊・小野田第一

実施する、「市内一斉ノーマイカーデー」、「出前講座」について案内した。

交通(株)所長)の変更を承認した。このあと平成二十八年度事業報告及び収支決算報告について説明し、三好伸康監事の監査

が、八月十一日に計画準備中の七夕イベントについて、出席者に協賛等、協力を要請した。

報告のあと審議を行い、満場一致で事業報告及び収支決算報告を承認した。報告事項としては、先に開催された常議員会において、青年部前会長の

最後に、五月二十七日、二十八日の両日開催された「住吉まつり」について、実行委員長の土井始氏が、協賛、参加等の協力に對しお礼を述べて閉会となった。

大井淳一朗氏を参与に委嘱したこと。事務局職員の有給休暇の時間単位取得制度の導入等に伴い就業規則を一部改定したこと等を報告した他、当所の事業として、八月二十

総会終了後、中国電力(株)電源事業本部原子力管理担当部長の三村秀行氏を講師に招き、「島根原子力発電所の安全対策について」と題した講話を出席者全員で聴講した。

日におのだサンパークで「おのだ就職フェア」を開催すること、春季ソフトボール大会を来る六月

なお、事業報告及び収支決算報告の概要は次のとおり。

事業報告

十八日に開催すること、宇部商工会議所と共同で婚活事業「縁カウンターパーティー」を実施すること等について報告した。また、山陽小野田市が

① 定款及び規約については、マイナンバー制度の施行に伴い当所の個人情報保護関連規程を変更したほか、事務

局の週休二日制実施に伴い就業規則の一部を変更した。

② 組織では、会員数が前年度と同じ一千一事業所となった。

③ 選挙、選任では、本年度、任期満了に伴う役員、議員の改選を行い、会頭、副会頭などの役員をはじめ、各号議員の選任を行った。

④ 事務局員は、職員十三名。

⑤ 庶務関係では、文書発信一万五千三十件、受信一千八百四十件のほか、各種表彰により、延五十一名の表彰を行った。

⑥ 会議では、第六十二回通常議員総会のほか、常議員会、臨時議員総会、監事会、部会、委員会など百七回の会議を開催した。

⑦ 事業関係では、第三十七回会員大会をはじめ、商店街活性化事業、地域活性化事業、中小企業労務改善事業、地

前頁より

区委員会活動、青年部・女性会活動、小規模企業振興委員会活動を実施した。

また、意見活動、広報、講演会・講習会活動、会員従業員福祉事業、商工技能普及・検定事業などを実施した。

中小企業相談所事業では、巡回指導三百二十件、窓口指導一千二百十六件を行なったほか、講習会・個別指導を百四十一回開催した。金融斡旋では、日本政策金融公庫、市振興資金で、四十七件二億三千二百九十万円の貸付実績となった。会員福祉共済事業では、加入事業所数が、延二千四百九十九件となった。

⑧ 登録については、特定定工業者三百七十五名の法定台帳作成を行ない、商取引等に活用した。

⑨ 会館、事務所は前年どおりで、施設の利用状況は、貸室が延百九

十六件、駐車場利用一万一千二百八台であった。

⑩ その他、諸会合に延百五十八回、会頭ほか関係役員が出席した。

収支決算報告

平成二十八年度の収支決算では、一般会計の収入が七千九百六十七万円、支出四千二百十万円、次年度への繰越金は三千七百五十七万円となった。特別会計では、中小企業相談所三千五百九十五万円、法定台帳関係費六十七万円、特定退職金共済事業五千八十四万円、共済事業一千七百六十八万円、労働保険等事務委託事業七百三十万円、建物管理一千四百十九万円、駐車場管理百八十一万円の決算額となった。

優良技能社員表彰

十五名を選考
七月三日に表彰式

当所では、去る六月八日(木)午前十一時より、当所、常議員会室におい

て会員福祉委員会(委員長 中務敏文・尙白影社 取締役 委員十名)を開催し、優良技能社員表彰の選考を行った。

この表彰制度は、会員事業所における、特に優秀な技能社員を表彰し、技能職社員の定着確保と技能水準の向上を図り、会員事業所の発展に役立てようとするもので、表彰者は、厳正な審査規定に基づき、次の十五名の方に決定した。(敬称略)

▽小野田通運輸

配川 輝・タンク洗浄 工事

原田和俊・木質バイオ

マス設備運転業務

福地 芳・フォークリ

フト作業

▽富士運輸(株)

畑谷幸典・運転技能者

井原勝敏・運転技能者

石井登志夫・運転技能者

者

▽西部石油(株)山口製油所

大垣隆倫・プラント運

転および運転計画作成

(危険物、高圧ガス、ボ

イラーの取扱)

岡田 怜・プラント運

転(危険物、高圧ガス、

ボイラーの取扱)

松本広大・プラント運

転(危険物、高圧ガス、

ボイラーの取扱)

▽中国電力(株)新小野田発

電所

富士原貴顕・ボイラー

技士

西原利樹・ボイラー技

士

田村敬造・ボイラー技

士

▽富士自動車(株)

佐々木優・自動車整備

機能

民繁能介・自動車整備

技能

▽山口小野田レミコン(株)

山根 智・コンクリー

ト技士

仕事で使える
パソコン教室

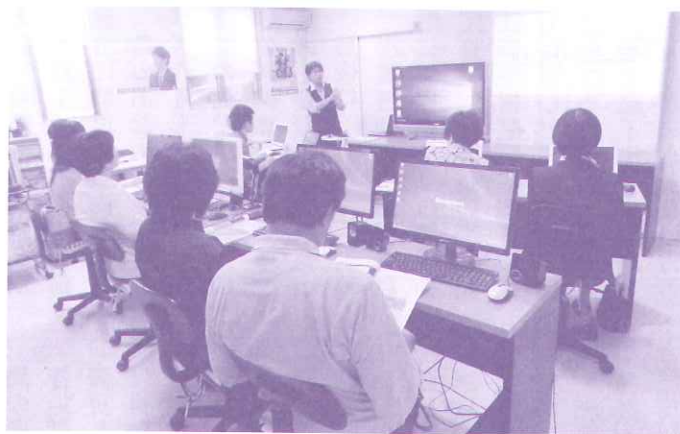
全課程終了

当所では「仕事で使えるパソコン教室」と題して実用的なパソコン講座を開催した。

この講座はWordやExcelの便利な使い方を学ぶ内容で、チラシ・地図・案内文書等作成講座は六月五日・七日・九日の三日間、PC時短テクニック&Excel関

数講座は六月十二日・十四日・十六日の三日間で実施した。

会場は、当所会員のパソコン教室わくわく小野田校で、講師は同校の統括インストラクター佐々木翔汰先生にお願いし、チラシ作成講座では簡単な地図作成から画像挿入・フォント変更等を駆使し、最終日にはチラシを完成するまでの課程で、PC時短テクニック講座ではマウス操作の代わりに効

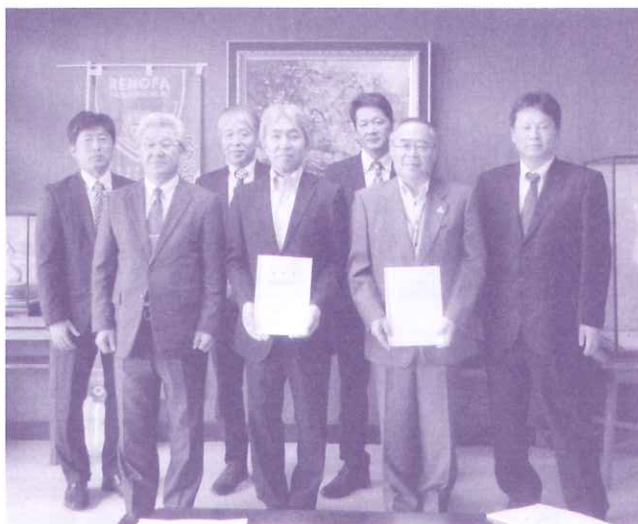


率の良いキーボード操作で時間を短縮できたり、高効率なファイル管理の仕方、Excelでよく使われる関数などを学んだ。各コースとも定員八名として開催したが、少人数で講師の目が行き届き、きめ細かい説明ができたことで、受講者からは好評だった。

山陽小野田市長へ
要望書・提言書を提出

六月五日（月）産業競争力強化委員会（清水俊宏委員長）と地域資源活用委員会（三好伸康委員長）の正副委員長が、それぞれの委員会で意見をとりまとめた「要望書、提言書」を、山陽小野田市役所を訪れ、藤田市長ら市幹部に提出した。

当日は、両委員長らが委員会を代表し、産業競争力強化委員会では、公



前列左より、清水委員長・藤田市長・古川副市長・福田副委員長（地域資源活用）／後列左より、穂本副委員長（産業競争力強化）・西田副委員長（産業競争力強化）・三好委員長



清水委員より藤田市町に手渡される

共工事の発注や物品購入に地元業者の活用を求め、要望書。地域資源活用委員会では、J R小野田駅前活性化につなげるため、「小野田駅前官民

学連携まちづくり協議会（仮称）の設置を求める提言書を手渡し、実現に向けて強く訴えた。

これを受けて、藤田市長は、「方向性は私の考えと同じ。庁内で検討したい。」と、前向きに進めるとの回答をいただいた。

第十七回
産業競争力
強化委員会開催

去る六月十二日（月）

十四時半より、当所二階常議員会室に於いて、産業競争力強化委員会を開催した。（委員十一名出席）

委員会では、藤井副会長、清水委員長が挨拶を



第17回委員会の様子

した後、議事に入った。まず、清水委員長より、六月五日（月）山陽小野田市役所会議室にて「要望書」を藤田市長へ提出したことの報告がなされた。

藤田市長へは「要望書」の概要を説明し、「実現に向けて前向きに対応して欲しい。」また「早期に回答が欲しい。」と訴えた旨を委員へ伝達。

藤田新市長より「市も同じ方向を向いている。」との回答があり、「前向きに対応をするので、少し時間が欲しい。」との回答があった事も報告され、これまで一年六ヶ月間、

当委員会が検討を重ねてきた「要望書」であるため、今後の展開に期待する声が委員から上がった。

この後、事務局から八月二十日（日）に開催予定の「就職フェア」について、参加の呼びかけがあった。

次回の委員会は、七月十九日（水）十四時半より開催の予定。

小規模企業共済制度

【この制度に加入できる方】

- ・常時使用する従業員が20人以下（宿泊業・娯楽業を除くサービス業、商業では5人以下）の個人事業主および会社の役員
- ・事業に従事する組合員が20人以下の企業組合の役員、常時使用する従業員が20人以下の協同組合の役員
- ・常時使用する従業員が5人以下の弁護士法人、税理士法人等の士業法人の役員
- ・小規模事業者たる個人事業主に属する共同経営者（個人事業主1人につき2人まで）

【制度の特色】

- ・個人事業主の廃業、個人事業主の廃業に伴う共同経営者の退任、会社等の解散、会社等の役員の疾病・負傷
 - ・65歳以上による退任等の場合は、共済金を受け取れます。受け取りは、一括・分割・併用のいずれかを選べます。
 - ・共済金は税法上「退職所得扱い」または「公的年金等の雑所得扱い」となります。
 - ・掛金は毎月1,000円～70,000円で全額所得控除になります。
 - ・一定の資格を有する方は、納付した掛金の範囲内で、事業資金等の貸付制度を利用できます。（担保・保証人不要）地震、台風、火災等の災害時にも、低利で貸付を受けられます。
- ※本制度についてのお問合せ・お申込は 小野田商工会議所（84-4111）まで

第六回「復活！住吉まつり」活気あふれる

第六回「復活！住吉まつり」【住吉まつり復活委員会（宮崎義也会長）主催】が五月二十八日住吉神社をメイン会場に開催された。周辺施設でも様々なイベントが行われ、二十七日の前夜祭と合わせて三万五千人（主催者発表）で賑わった。



当市で日本初の民間セメント会社を創立した笠井順八翁ら先人の遺徳を称え、街を元気にしようと呼びかけ、半世紀ぶりに再興してから六年目を迎えた。

前夜祭では竹灯籠で境内や周辺を彩り、本祭では小野田工業高校前から境内まで、本祭では境内のステージでは、パレードを終えた団体が次々に登場。同まつりの総踊り曲「つなぎ歌」も盛り上がり、餅まきで締めくくった。前夜祭、本祭ともに好天に恵まれて多くの来場者が訪れ、会場は活気にあふれた。



当所女性会もバザーで参加

住吉神社までを地元の園児や警察音楽隊、よさこい団体、徳利窯・硫酸瓶を模した神輿、小野田偉人行列等がパレードを行った。特に今回は住吉神社の本家筋に当たる萩市の住吉神社の協力で同神社の上荷組による住吉神輿も参加し、威勢の良い掛け声を響かせた。

第五十三回会頭旗争奪 スローピッチ 春季ソフトボール大会

不二輸送機工業が優勝

去る六月十八日（日）

高千帆運動広場において、春季ソフトボール大会を開催した。



優勝した不二輸送機工業チーム

この大会は会員事業所対抗によるトーナメント式で、春季大会ではスローピッチルールで行われ、七事業者から八チームが参加し熱戦を繰り広げた。結果は以下の通り。

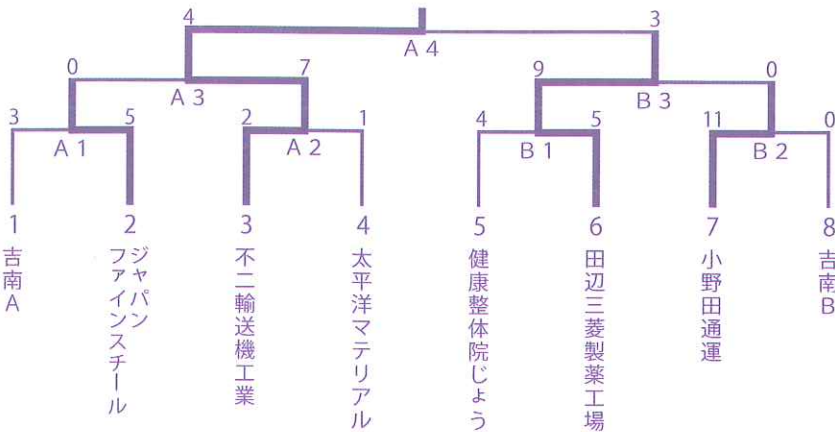
▽優勝 不二輸送機工業 (株)

▽準優勝 田辺三菱製菓

工場(株) 入賞チームにはトロフィー・盾と副賞を贈呈した。

▽三位 ジャパンファイブスチール(株)・小野田通運(株)

第53回会頭旗争奪春季ソフトボール大会 結果



小野田青色申告会
第51回通常総会開催

新会長に松山忠雄氏

小野田青色申告会では、去る六月五日（月）十八時より、当所において第五十一回目の通常総会を瀧口厚狭税務署長、藤田会頭、他六名の来賓を招いて開催した。

総会では、先ず河村会長が挨拶、続いて瀧口署長、藤田会頭より祝辞を受けた。

その後、議事に入り、まず一号議案の平成二十八年年度事業報告並びに収



第51回小野田青色申告会通常総会

支決算報告が承認された。

次に二号議案の平成二十九年年度役員について、河村会長より平成二十八年年度をもって会長職を辞する旨の説明があり、副会長の松山忠雄氏が平成二十九年年度の会長に就任する事が承認された。任期は二年間。松山新会長は、管内連合会や県連との連携を強化し、会員増強、各種研修会や相談会等を積極的にを行い、サービスの向上に努めたいと抱負を述べた。

引続いて、第三号議案平成二十九年年度事業計画案および予算案が承認され総会は終了した。総会終了後は懇親会を開催し会員同士の親睦を図った。

平成二十九年年度小野田青色申告会の役員及び活動計画の主な事業実施内容は次のとおり。

■役員（敬称略）

【会長】松山忠雄（松山電器）

【副会長】河東繁太郎（かわとうミシン電機商

小規模事業者経営改善資金
（マル経資金）

マル経資金とは、商工会議所の推薦より日本政策金融公庫から無担保・無保証人で融資するもので、金融面から小規模事業者の経営改善を効果的に進めることを目的としています。

融資限度額：2,000万円

利率：1.16%（利息は経済情勢により変わります）

担保・保証人：不要

返済期間：運転資金7年以内

設備資金10年以内

詳しくは、小野田商工会議所（84-4111）まで

会）・高濱淳一（ひかり測量コンサルタント）

【監事】松吉明治（まつよし理容室）・中村聖子（お弁当のLucy）

【理事】迫田年（迫田食料品店）・石田英子（石田塗料商会）・伊藤雅裕（伊藤仙ビル）・坂野一彦（坂野二級建築設計事務所）・松永剛（松永種苗）

■主要実施内容

①機関紙「ブルーリタイン」の配布

②会員増強による内部組織の強化拡充

③税制改正等の説明会、相談会の開催

④指導活動の充実・強化
⑤会計ソフト「ブルーリターンA」の普及促進
⑥電子申告の普及活動
⑦租税教育活動を通じた社会貢献の実施協力
⑧関係諸機関並びに管内青色申告会との連携強化

⑨その他会の活動に必要な事業

おのだ七夕祭り2017のお知らせ

この夏、小野田商工会議所が主催して、七夕祭りを開催することとしました。例年行っていた七夕花火のように、大規模な花火こそないものの、歌やダンスをメインとした、ステージイベントで、小野田の夏の夜を盛り上げます。

●日時 2017年8月11日（金） 18時～21時

雨天の場合は8月12日（土）に延期

●場所 山陽小野田市サッカー場・小野田運動広場

※例年の花火会場だった山口県立サッカー場とは別の会場となります。

ご注意ください。

山口東京理科大学から小野田商工会議所会員様への商品技術の提案

⑨人に役立つロボット技術の応用

山陽小野田市立山口東京理科大学 工学部機械工学科 講師

池田毅

問い合わせ：Tel:0836-88-3500 山陽小野田市立山口東京理科大学 地域連携室

高齢社会となり技術の伝承や労働力確保においてロボット技術の応用に期待が寄せられています。そのような社会的なニーズから、これまでは工場内など人とあまり接する事のない作業空間を与えられていたロボットが福祉ロボットやペットロボット、掃除用ロボットの分野など人に身近なところで利用されるようになってきています。このようにロボットを有効活用するためにセンサ技術、制御理論、機構などのハードウェアなどロボット工学のカバーする分野は多岐に渡っています。山口東京理科大学池田研究室では“人に役立つロボット技術の応用”を目標に様々なロボットの開発やインターフェースの応用を提案しています。ここでは、そのロボット技術を紹介します。

一つ目は図1に示した電動車椅子型ロボットに関する研究です。後輪がモータ駆動であり、前輪が受動キャスタとなっている電動車椅子を車輪型移動プラットフォームとしてロボットアームを搭載したものです。手足にハンディキャップを負った人たちが自分の意志で操作が可能となるように空圧パイプと圧力センサ、力センサを用いて開発した口部入力インターフェースと組み合わせることで、口周りの運動機能のみで電動車椅子やロボットアームの操作を可能にしたものになります。

二つ目は農作業支援ロボットです。現在はトマトの自動収穫を目指して、ロボットアームとロボットハンドを中心に収穫機構の開発を行っています。農作物の商品価値を維持するためには傷付けずに収穫する必要がありますが、ロボットは同じ行動の繰り返しは得意ですが支えながら包み込み収穫する様な、状況に応じた力加減は非常に難しい作業となっています。そこで、図2に示したようにハンドの材質や収穫の仕方を検討し、センサによる検出などと組み合わせたトマト収穫ロボットの開発を行っています。

三つ目は図3に示す、カメラ機能と距離センサを併せ持つRGB-Dセンサを用いた非接触型インターフェースに関する研究です。カメラ機能から得られる色の情報とレーザの反射から得られる距離情報を組み合わせて、モーショントラッキング、顔認識などを行い、インターフェースとして二足歩行ロボットやロボットアームを操作するコントローラの開発などを行っています。



図1 電動車椅子型ロボット

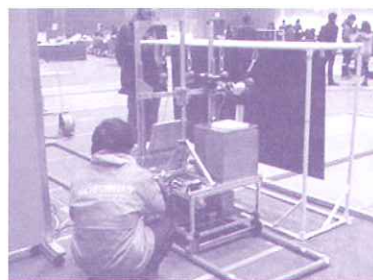


図2 トマト収穫ロボット
(第3回トマトロボット競
技会より)



図3 RGB-Dセンサと
ロボットアーム

相談会のお知らせ

1	無料法律相談 ※事前予約必要	7月20日(木)	午後2時 ～午後5時	山口県弁護士会 所属 弁護士
2	労務個別相談 ※事前予約必要	7月10日(月)	午後1時半 ～午後4時半	特定社会保険労務士 上 條 昭
		7月26日(木)		
3	創業個別相談 ※事前予約必要	7月21日(金)	午前9時 ～午後5時	中小企業診断士 伊 藤 勝 彦
		7月13日(木)	午後1時半 ～午後4時半	税理士・中小企業診断士 小 平 敏 彦
		7月24日(月)		
4	知的財産に関する個別相談 ※事前予約必要	7月14日(金)	午後1時半 ～午後4時半	今 中 崇 之 弁理士
5	記帳・税務相談	7月11日(火)	午後1時 ～午後4時	畑 善 高 税理士
		7月18日(火)		佐 久 間 慶 和 税理士



「日本一高齢者が活躍する『コーケン工業』」

磐田市（静岡県）の郊外に、「コーケン工業株式会社」という社員数約二五〇人の中小企業がある。主事業は、農機具や

建設機械、自動車などに使用される、各種パイプの製造である。

同社の強さの根源は、パイプの開発技術力もともと、パイプ加工・切削加工・溶接、そして表面処理までの一貫した社内生産体制を保有している点や、生産本数が月一本とか、年間でも三本く

五本しかない「超微量生産」にも柔軟に対応できる生産・管理技術が卓越している点などである。それ故、同社商品の大半は、こんなことをしたいとか、こんな形状のパイプができないか...といった、多くの企業が嫌がる面倒なものである。

二五〇人中六〇人、率にすると二四%が六六歳以上の高齢社員である。ちなみに、現在の最高年齢社員は八八歳の女性である。余談であるが、数年前までは九三歳の女性社員が最高齢であった。同社の実質創業者である村松久範会長は、「わが社はまるでペンギン村だ...」が口癖である。

**がんばれ！
レノファ山口**

第20節(6/25)までの成績
勝点 13 (3勝4分13敗)
順位 19位

これからのホームゲーム予定

- ・7月9日(日) 18時～ VS モンテディオ山形
- ・7月29日(土) 19時～ VS 横浜FC
- ・8月5日(土) 19時～ VS ロアッソ熊本

名な同社であるが、先般同社は第七回「日本でいちばん大切にしたい会社大賞」の中小企業部門で最高賞である「中小企業庁長官賞」を授与された。それは同社の高い技術力を評価したものでなく、一九七一年（昭和四十六）年の創業以来、既に四十五年以上にわたり、他社の模範となる「人をとことん大切にす

る正しい経営」を続けてきたことに対してである。その全てをここに紹介することはできないので、その一つである、同社がこの間実施してきた高齢者雇用への取り組みを挙げる。現在、同社の社員

先般、同社を久方ぶりに訪問する機会があった。広い工場には一〇代く八〇代までの社員が、一丸となつてまるで家族のように助け合いながら笑顔で生産に従事している様子を見て、筆者は心が満たされた。



坂本光司

一九四七年東京生まれ。福井県立大学教授、静岡文化芸術大学教授などを経て、二〇〇八年四月より法政大学大学院政策創造研究所（地域づくり大学院）教授、同静岡サテライトキャンパス長および同イノベーション・マネジメント研究科兼担教授。他に、国や県、市町、商工会議所などの審議会・委員会の委員を多数兼務している。専門は中小企業経営論・地域経済論・産業論。著書に『日本いちばん大切にしたい会社』（あさ出版）、『この会社はなぜ快進撃が続くのか』（かんき出版）など。

坂本 光司/さかもと・こうじ

会議所の動き

- 2日 就職フェア打合せ (十五時、市役所)
- 5日 市長に要望書・提言書提出 (十時、市役所)
- 5日 第五十一回小野田青色申告会通常総会 (十八時、当所)
- 6日 小規模事業者経営改善資金推薦団体連絡協議会 (十一時、下関青年部役員会 (十九時、当所))
- 7日 県火災理事会 (十時半、山口グランドホテル)
- 7日 消費税期限内完納推進宣言式 (十五時、厚狭税務署)
- 8日 会員福祉委員会 (十一時、当所)
- 8日 就業で使えるパソコン教室チラシ作成講座② (十八時半、パソコン教室わくわく小野田校)
- 9日 国際交流協会役員会及び総会 (十四時、市役所)
- 9日 創業相談 (十三時半、当所)
- 9日 創業相談 (十三時半、広島)
- 10日 山口県西部地域商工会議所議員ゴルフ大会 (十時六分、長門)
- 10日 山口県西部地域商工会議所議員ゴルフ大会 (十時六分、長門)
- 11日 小野田駅前「街なかフリマ」 (八時、小野田駅前中通り)
- 11日 日商簿記検定試験 (九時、当所)
- 11日 日本列島クリーン大作戦 (九時、きららビーチ焼野)
- 12日 春季ソフトボール大会主将会議 (十三時半、当所)
- 12日 労務相談 (十三時半、当所)
- 12日 産業競争力強化委員会 (十四時半、当所)
- 12日 就業で使えるパソコン教室時短テクニク講座① (十八時半、パソコン教室わくわく小野田校)
- 14日 正副会頭会議 (十時、当所)
- 14日 知的財産に関する個別相談 (十三時半、当所)
- 14日 社協評議員会 (十四時、中央福祉センター)
- 14日 就業で使えるパソコン教室時短テクニク講座② (十八時半、パソコン教室わくわく小野田校)
- 15日 法律相談 (十四時、当所)
- 15日 厚狭法人会総会 (十七時、セントラルホテル)
- 16日 創業相談 (九時、当所)
- 16日 税務相談 (十三時、当所)
- 16日 就業で使えるパソコン教室時短テクニク講座③ (十八時半、パソコン教室わくわく小野田校)
- 18日 春季ソフトボール大会 (九時、高千帆運動広場)
- 19日 記帳相談 (十三時、当所)
- 19日 山口県青色申告会連合会総会 (十六時半、山口グランドホテル)
- 20日 県下商工会議所女性会会員大会小野田大会 (十時、セントラルホテル)
- 20日 小野田工業高校定時制教育振興会役員会及び総会 (十八時、小野田工業高校)
- 20日 青年部六月例会 (十九時、当所)
- 21日 算定基礎届事務説明会 (十三時半、市民館)
- 21日 青年部地域振興委員会 (十九時、当所)
- 22日 小野田駅前商店街振興組合総会 (十一時、日の出市場)
- 22日 経営指導員全国研修会二日間 (十三時、熊本)
- 22日 県火災通常総代会 (十三時半、山口)
- 22日 平成二十九年度ビジネスドラフトやまぐち第一回実行委員会 (十四時半、防府商工会議所)
- 22日 宇部管内食品衛生協会総代会 (十六時、宇部)
- 23日 青年部願いが叶う街委員会 (十九時、当所)
- 23日 アクサ生命契約者感謝の会 (十一時、当所)
- 23日 青年部 (十九時、当所)
- 23日 労働連臨時役員会 (十三時半、山口)
- 24日 平成二十九年度山口県商工会議所青年部連合会第二回会長会議及び第三十一回会員大会 (十時半、下関)
- 24日 地域資源活用委員会 (十六時半、当所)
- 25日 珠算検定 (九時、当所)
- 25日 経営指導員研修会 (九時半、山口)
- 26日 創業相談 (十三時、当所)
- 26日 経営支援コース二日間 (九時半、山口)

山口県では
「やまぐち健康経営企業認定制度」を
協会けんぽ山口支部と協働して開始しました。

この制度は、県が、従業員の健康管理を、経営的な視点から戦略的に実践する企業(健康経営企業)を認定し、社会的な認知度を高めることで、さらに多くの企業の参加を促し、働く世代の方々の一層の健康増進を図ることを目的としています。

詳しくは、専用サイトをご覧ください。山口県健康増進課(083-933-2950)までお尋ねください。

サイトアドレス
<http://www.kenko.pref.yamaguchi.lg.jp/keiei/>